ドクターに聞きました

逆流性食道炎について

その症状、逆流性食道炎かも？

❶逆流性食道炎とは

胃粘膜から分泌された胃酸が食道に逆流することで食道粘膜に起こる炎症のことです。胃酸の主成分は塩酸という強い酸で胃に入ってきた細菌を殺菌し、食物中のタンパク質を変性させて、消化酵素による消化を助けます。胃は胃粘液を分泌し、胃粘液は胃粘膜をベールの様に覆い、胃粘膜を保護する防御機構がありますが、食道には防御機構がないため、胃酸の逆流により容易に炎症を起こします。

❷逆流性食道炎の症状は

喉の違和感、喉や胸が詰まったような閉塞感、胸やけや呑酸（酸っぱい胃液が口まで上がってくること）、げっぷなどの食道に直接関係した症状と胸痛や胃酸を誤嚥することで生じる咳嗽・喘息、胃酸による酸蝕症（歯が解ける）などの食道以外に生じる症状があります。さらに、胃酸の逆流による不快感で睡眠障害を生じる方もいます。

❸逆流性食道炎の原因は

胃酸が食道に逆流することですが、胃酸が食道に逆流する原因は何でしょうか?胃と食道の境界には胃酸の逆流防止機構として食道下部括約筋が存在します。通常この食道下部括約筋は閉じていますが、加齢や食生活等の要因で逆流防止機構が破綻し締まりが悪くなると胃酸が逆流します。慢性的に破綻している状態、つまり食道と胃の境界が緩い代表的疾患としては食道裂孔ヘルニアがあります。一過性に破綻するのは「げっぷ」や「嘔吐」などが主な原因です。

❹逆流性食道炎の原因となる注意すべき生活習慣

脂肪分の多い食べ物・甘いもの・刺激の強い食べ物の摂取、炭酸飲料・アルコール・コーヒーの過剰摂取、過食（特に夕食）、食後すぐ横になる、就寝時に枕が低い・右を下にして寝る、お腹をベルトや下着で絞めすぎる、前かがみの姿勢、重いものを持ち上げるなどが挙げられます。また、ストレス、タバコ、肥満、妊娠も逆流性食道炎の原因の一つになります。

❺逆流性食道炎の診断は

胃カメラ（内視鏡検査）による検査で食道の粘膜障害を確認します。食道粘膜に炎症所見があった場合は逆流性食道炎（GERD）と診断され、炎症所見が無かった場合は非びらん性逆流性食道炎（NERD）と診断されます。逆流性食道炎は内視鏡的に確認される食道粘膜の「炎症の有無」で診断される疾患ではなく、「症状の有無」で診断される疾患です。それでは何故胃カメラを行うのかというと、症状の背後に重篤な疾患（食道癌、食道潰瘍、食道狭窄、胃癌、胃潰瘍など）が隠れている可能性があり、これを早期発見する必要があるからです。

❻逆流性食道炎の治療は

胃酸の分泌を抑える薬（P-CAB、PPI、H2ブロッカー）を中心に、消化管機能と蠕動運動を改善させ食物の消化を助け、食物の胃内での滞留時間を短縮させる消化管運動機能改善薬、胃酸を中和する制酸薬、食道粘膜を保護する粘膜保護薬などが使用されます。

医療法人　桃坂クリニック
理事長・院長
桃坂 奏寛先生

日本消化器内視鏡学会専門医
日本消化器病学会専門医
日本内科学会認定医

趣味
サーフィン・ロードバイク

医療法人 桃坂クリニック
北九州市若松区二島 5-20-6
TEL 093-772-5811